

Japan Communications Networks (Japanese Version)

AN IDC CONTINUOUS INTELLIGENCE SERVICE

通信事業者、企業ユーザー共に、ネットワークの大規模化、複雑化によって、信頼性、セキュリティ、管理の容易性、柔軟性といった面で高いレベルが求められるようになってきています。IDC Japan 年間情報提供サービス「Japan Communications Networks (Japanese Version)」では、ベンダー、販売チャネル、ユーザーの3つの切り口から国内ネットワーク機器市場の動向を詳細に分析し、各製品分野について、キートレンド、競合分析、市場動向と将来展望を提供します。2019年は、IoT (Internet of Things) の進展と共に関心を集めている産業用ネットワーク機器市場に関する調査を強化しています。

Markets and Subjects Analyzed

- ルーター
- イーサネットスイッチ
- アプリケーションデリバリーコントローラー
- 無線 LAN
- 産業用ネットワーク機器

Core Research

- 国内企業向けネットワーク機器市場 予測とシェア
- 国内 CSP 向けネットワーク機器市場 予測とシェア
- 国内データセンターネットワーク機器市場 予測とシェア
- 国内ネットワーク機器市場 企業ユーザー調査
- 国内産業用ネットワーク機器市場 予測とシェア
- IDC FutureScape: Worldwide Telecommunications 2019 Predictions - Japan Implications

上記リサーチは市場環境などの変化に応じて変更される可能性があります。発行レポートをご覧になりたい場合は以下 Web サイトをご参照ください。: [Japan Communications Networks \(Japanese Version\)](#).

Key Questions Answered

1. 企業ネットワークインフラが克服すべき課題は何か?
2. アプリケーションネットワーク分野で競合ベンダーにどのようにして打ち勝っていくのか?
3. 企業ユーザーが求めるネットワークインフラとは何か? またどのような視点からネットワーク機器を選択しているのか?
4. 成熟化が進む市場でネットワーク機器ベンダーが勝ち残るためのポイントは何か?

Companies Analyzed

IDC では、次のベンダーの企業戦略、競合状況などの比較/分析を行います (アルファベット順、50 音順)。

A10 ネットワークス、F5 ネットワークス、NEC、APRESIA Systems、アライドテレシス、アラクサラネットワークス、アリスタネットワークス、エクストリーム・ネットワークス、ジュニパーネットワークス、シスコシステムズ、シトリックス・システムズ、日本ヒューレット・パッカード、ノキア、富士通、ヤマハ、その他